



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月22日（火）



今日の児童朝会は、計画委員会からの発表でした。あいさつや言葉遣いについて寸劇やクイズを交えながら、西小学校がよりよくなるためのテーマを発表してくれました。テーマは、「元気にあいさつ言葉えらんで みんな仲良く」です。計画委員会は、代表委員会での提案や学校行事での役割など、学校全体に関わる仕事に携わっています。今回の発表でも、西小のみんなが楽しく生活できるようになるために一生懸命考えてくれた内容でした。



3年生は国語で同音異義語の学習をしていました。ひらがなだけで書かれた文は、よく意味が伝わらない場合があります。授業の導入場面では、「人形に はなを つける。」という例文を扱いました。この場合、「はな」は、「花」でも「鼻」でも間違いではありませんが、漢字で書かれていないとどちらの意味で書かれた文なのかわからないことを確認しました。また、文の意味に合った漢字を使う場面においては、「はははははしようぶです。」というお馴染みのフレーズや、熟語の同音異義語についても扱いました。日本語は、ひらがな・かたかなといった表音文字と漢字という表意文字を組み合わせさせて使っています。世界的に見ても、表音文字と表意文字の両方で表記する言語は稀です。（アルファベットで表記する言語は表音文字です。）言語は、時代とともに変化する流動的なものです。日本語の中に英単語を混ぜて使ったり、英語の一部を切り取ったり組み合わせたりする和製英語も会話の中で頻繁に使われるようになりました。これから日本語がどのように変化していくのかわかりませんが、日本語そのものが持つ美しさや表現の豊かさは失いたくないものです。



次時は、自分で同音異義語の漢字を見つけ出し、作文する予定です。

1年生は、ペース走記録会に向けてあきらめないでがんばる作戦について、学級会で話し合いをしました。学級会も回数を重ねることで、話し合いが上手になってきています。司会を中心にみんなで話し合って決めることの大切さを理解して話し合っている様子わかります。発言するときには、理由を添えることができている。また、賛成意見だけでなく、少数の心配意見についても、どうやったら心配が解消されるか考えて発言していました。学級会の進め方は、1年生から6年生までほぼ同じです。1年生のうちに話し合う形を身につけ、お互いの意見を尊重し合う意識を醸成していくことで、学年の発達段階に応じた話し合いの深まりが期待できます。

